

資料1-①

防災基礎コースの リニューアル状況

1. 防災基礎コースリニューアル状況

○ハザード

- ・関西大学 林能成先生に構成案について検討いただく。
- ・ご検討いただいた構成案をもとにリニューアルを進める。

○「各省庁からの研修資料」の検討

- ・田村先生に各省庁からの研修資料について構成を検討頂いた。

資料1－②

テストの検討状況

1. 能力評価方法の検討状況(テストWG)

● これまでの検討会を経たテストWGの作業方針

1. テスト問題について、ランダム回答による誤差を抑え、より客観的に学習目標の達成度を把握するため、従来の「○×形式」から「多種選択形式」へ変更する(2024年度検討会の検証で「多種選択形式」が「○×形式」より難易度は上がることはなかった)。
2. 作問にあたっては、「難易度(正答率)」と「テスト作成のコスト(作成時間)」の2点を考慮しながら作成する。
3. 作問手順として、学習目標に対応した「○×問題」を作成し、これらを素材として「○×問題を元にした多種選択形式の問題」を作成する。また講義中の重要な図については、「図の穴埋め(用語は選択式)」などの問題も検討する。
4. 更新を行った講義について、順次、新しい形式のテストを作問していく。

第2期で更新を行った講義(被災者支援コース)

右表の黄色塗りつぶし部分

2. 災害救助法と被災者生活再建支援法

3. 避難所運営等避難生活支援

6. 被災者支援の個別課題

7. 生活再建支援業務

形式	単元No	単元名	単元の概要	単元時間	動画時間	講師	学習目標(学習項目)				
オンデマンド	0	コース紹介		0	5分	田村 圭子(新潟大学)					
	1	被災者支援総論	被災者支援の実態と被災者支援の全体像を学ぶ。	1	50分	田村 圭子(新潟大学)	<ul style="list-style-type: none"> 1. コースの全体像を説明できる。 2. 被災者支援の全体像を説明できる。 3. 避難所の役割を説明できる。 4. 被災者の移動について説明できる。 5. 要配慮者安否確認と支援について説明できる。 6. 被災者生活再建の全体像について説明できる。 				
	2	災害救助法と被災者生活再建支援法	被災者支援における災害救助法と生活再建支援法の位置づけや手続き、適用事例を学ぶ。	2-1	31分	内閣府(阿部 嘉信)	<ul style="list-style-type: none"> 1. 災害救助法の概要について説明できる。 				
	2-2	18分	元内閣府(津軽 承彦)	<ul style="list-style-type: none"> 被災者生活再建支援法の概要について説明できる。 							
オンデマンド	3	避難所運営等避難生活支援	避難所のライフサイクルを学ぶ。	3	74分	田村 圭子(新潟大学) 山本 晋吾(ひょうご震災記念21世紀研究機構)	<ul style="list-style-type: none"> 1. 避難所の基本について理解する。 2. 運営体制の確立～平時から実施すべき業務～について説明できる。 3. 避難所の運営(発災後)について説明できる。 4. ニースへの対応と 避難所の解消について説明できる。 				
	4	避難所運営の実際	事例を基に避難所運営の実際を学ぶ。	4	56分	国崎 信江(危機管理教育研究所)	<ul style="list-style-type: none"> 1. 避難所運営現場における課題について説明できる。 2. 熊本地震における避難所運営の実際(全体)について説明できる。 3. 熊本地震における避難所運営の実際(現場改善)について説明できる。 4. 熊本地震における避難所運営の課題(車中泊)について説明できる。 5. 熊本地震における避難所運営の課題(ペット対応)について説明できる。 6. 熊本地震における避難所運営の課題(運営主体)について説明できる。 7. 熊本地震における避難所運営の実際(まとめ)について説明できる。 				
	ライブ	5	要配慮者をはじめとする避難者の避難生活支援	災害時要配慮者を始めとする避難生活への支援対策を学ぶ。	5-1	18分	田村 圭子(新潟大学)	<ul style="list-style-type: none"> 1. 福祉避難所の役割について説明できる。 2. 災害関連死と福祉避難所が必要とされる理由について説明できる。 3. 福祉避難所の概要について説明できる。 4. 福祉避難所の課題と(新)ガイドラインについて説明できる。 1. DMAT による支援について説明できる。 2. 災害医療の特殊性について説明できる。 3. 災害時に多数の傷病者対応に必要な機能について説明できる。 4. 災害関連死の特徴について説明できる。 5. 災害時高齢者の肺炎発生における原因と対策について説明できる。 			
					5-2	47分	鍵屋 一(跡見学園女子大学)				
5-3					56分	高橋 昌(新潟大学大学院)					
オンデマンド			令和3年3月の災害対策基本法において、市町村に作成が努力義務化された個別避難計画作成のステップとその機能を学ぶ。	5-4	17分	17分	内閣府(藤田 亮)	<ul style="list-style-type: none"> 避難行動要支援者対策の尊厳について説明できる。 個別避難計画における制度について説明できる。 個別避難計画の策定の優先度について説明できる。 			
				5-5	62分	2分	22分	27分	27分	鍵屋 一(跡見学園女子大学)	<ul style="list-style-type: none"> 1. 脆弱化した社会と正常化の雇員について説明できる。 2. 近年の災害と高齢者、障がい者等の被害について説明できる。 3. 避難関連計画と個別避難計画作成のステップについて説明できる。 4. 個別避難計画と福祉BCP、地区防災計画の関係について説明できる。 5. 個別避難計画の作成に関する取組事例について知る。
				5-6	37分	37分	内閣府(藤田 亮)				
	6	被災者支援の個別課題	各種専門職能の連携による被災者支援と被災者支援の個別課題を学ぶ。	6-1	43分	1分	4分	15分	15分	新潟県(小海 崇史)	<ul style="list-style-type: none"> 1. 広域避難対応について説明できる。 2. 大規模地震災害における広域避難について説明できる。 3. 大規模地震災害における広域避難支援について説明できる。 4. 広域避難者の支援に係る課題について説明できる。
				6-2	32分	31分	1分	山本 晋吾(ひょうご震災記念21世紀研究機構)	<ul style="list-style-type: none"> 1. 帰宅困難者対応について説明できる。 2. ご遺体対応について説明できる。 		
	7	生活再建支援業務	生活再建支援業務を学ぶ。	7	92分	田村 圭子(新潟大学) 元内閣府(辻野 満) 佐藤 和彦(大正大学)	<ul style="list-style-type: none"> 1. 生活再建支援業務の全体像について説明できる。 2. 災害に係る住家の被害認定調査の概要について説明できる。 3. 災害の被害認定調査の課題について説明できる。 4. 罹災証明書発行業務について説明できる。 5. 罹災証明書の発行業務の実際について説明できる。 6. 被災者台帳の構築について説明できる。 7. 生活再建支援業務の平時からの取組～豊島区の実例～について説明できる。 				
対面	8	【実務担当】 災害時のトイレ問題/全体討論	避難所のライフサイクルを演習形式で体験し、避難所運営業務の実務を学ぶ。	10	330分	田村 圭子(新潟大学) 佐藤 和彦(大正大学) 山本 晋吾(ひょうご震災記念21世紀研究機構)	<ul style="list-style-type: none"> 1. トイレの確保を中心に、避難所の被災者支援を具体的に計画できる。 				
		【一般管理】 避難所の運営業務/全体討論	避難所のライフサイクルを演習形式で体験し、避難所運営業務の管理運営を学ぶ。				<ul style="list-style-type: none"> 災害対策本部の避難所における自治体の避難所業務の運営管理が計画できる。 				

2. 災害救助法と被災者生活再建支援法(学習目標)

学習目標(単元名になぞらえた大目標2つだったためにテストWGから提案)

1. 災害救助法の目的と制度の枠組みを説明できる。
2. 災害救助法に基づき実施される「救助の種類」を具体的に説明できる。
3. 迅速な救助を可能にする災害救助法「4号基準」適用の考え方を説明できる。
4. 被災者生活再建支援法の趣旨について説明できる。
5. 被災者生活再建支援制度の適用要件や支給対象について説明できる。

2	災害救助法と 被災者生活再建支援法	被災者支援における災害救助法と生活再建支援法の位置づけや手続き、適用事例を学ぶ。	2-1	52分	31分	内閣府(阿部 嘉信)	・災害救助法の概要について説明できる。
			2-2		18分	元内閣府(津軽 承熙)	・被災者生活再建支援法の概要について説明できる。

3. 避難所運営等避難生活支援(学習目標)

学習目標

1. 避難所の基本について理解する。
2. 運営体制の確立～平時から実施すべき業務～について説明できる。
3. 避難所の運営(発災後)について説明できる。
4. ニーズへの対応と 避難所の解消について説明できる。

3	避難所運営等避難生活支援	避難所のライフサイクルを学ぶ。	3	74分	5分 21分 16分 15分 13分 4分	田村 圭子 (新潟大学) 山本 晋吾 (ひょうご震災記念21世紀研究機構)	<ul style="list-style-type: none"> ・1.避難所の基本について理解する。 ・2.運営体制の確立～平時から実施すべき業務～について説明できる。 ・3.避難所の運営(発災後)について説明できる。 ・4.ニーズへの対応と 避難所の解消について説明できる。
---	--------------	-----------------	---	-----	--------------------------------------	---	---

6. 被災者支援の個別課題(学習目標)

学習目標

1. 広域避難対応について説明できる。
2. 大規模地震災害における広域避難について説明できる。
3. 大規模地震災害における広域避難支援について説明できる。
4. 広域避難者の支援に係る課題について説明できる。
5. 帰宅困難者対応について説明できる。
6. ご遺体対応について説明できる。

6	被災者支援の個別課題	各種専門職能の連携による被災者支援と被災者支援の個別課題を学ぶ。	6-1	43分	1分 4分 15分 15分 8分	新潟県 (小海 崇史)	<ul style="list-style-type: none"> ・1.広域避難対応について説明できる。 ・2.大規模地震災害における広域避難について説明できる。 ・3.大規模地震災害における広域避難支援について説明できる。 ・4.広域避難者の支援に係る課題について説明できる。
			6-2	32分	31分 1分	山本 晋吾 (ひょうご震災記念21世紀研究機構)	<ul style="list-style-type: none"> ・1.帰宅困難者対応について説明できる。 ・2.ご遺体対応について説明できる。

1. 更新を行った講義について、順次、新しい形式のテストを作問していく。
2. 新しいテストについては、担当講師等に確認をしてもらった上で、テスト問題として使用する。
3. 次年度以降、正答率などを確認しながら極端に高いもしくは低いテスト問題については修正をしていく。

資料1－③

有明の丘研修 (第3期)の実施状況

1. 有明の丘研修(第3期) 募集状況

(第3回企画検討会より再掲)

- 令和7年度 第2期から各コースの定員数を倍増(60名→120名)し、対面演習の実施回数を2回に増加している(第3期も継続)。
- 全体では延べ1,241人応募があり、防災基礎を除く②～⑩では、前年度比で1.11倍の増加となった。
→第2期と同様に対面演習を2日から選べることで参加しやすくなったためと考えられる。

コース		R7年度(第3期 ※1月開催)				R6年度(第2期 ※1月開催)			
		定員	応募者	倍率	前年度比	定員	応募者	倍率	
① 防災基礎		800	396(-14)	0.50	0.97	400	410	1.03	
災害対策	② 災害への備え	実務	120	83(+14)	0.69	1.20	60	69	1.15
		一般	//	63(±0)	0.53	1.00	//	63	1.05
	③ 警報避難	実務	//	58(+3)	0.48	1.05	//	55	0.92
		一般	//	46(-8)	0.38	0.85	//	54	0.90
	④ 応急活動・資源管理	実務	//	64(+9)	0.53	1.16	//	55	0.92
		一般	//	48(-3)	0.40	0.94	//	51	0.85
	⑤ 被災者支援	実務	//	61(+9)	0.51	1.17	//	52	0.87
		一般	//	50(-9)	0.42	0.85	//	59	0.98
	⑥ 復旧・復興	実務	//	48(+11)	0.40	1.30	//	37	0.62
		一般	//	42(+8)	0.35	1.24	//	34	0.57
組織運営	⑦ 指揮統制	上級	//	83(+17)	0.69	1.26	//	66	1.10
	⑧ 対策立案	上級	//	74(+14)	0.62	1.23	//	60	1.00
	⑨ 人材育成	上級	//	65(+4)	0.54	1.07	//	61	1.02
	⑩ 総合監理	上級	//	60(+16)	0.50	1.36	//	44	0.73
②～⑩の合計		1,680	845(+85)	0.50	1.11	840	760	0.90	

資料1-④

ホームページの リニューアル

1. ホームページの公開状況

テストサイトでの最終確認を経て、2月に一般公開を開始した。

リニューアル作業スケジュール

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
サイト構成		ワイヤーフレーム作成～FIX								
デザイン/共通レイアウト	要件定義	サイトデザイン・ロゴ作成～FIX				サイトテスト公開最終校正			本番サイト運用開始(2/4一般公開)	
機能/パフォーマンス					環境構築					
企画検討会	■第1回 6/17開催				■第2回 10/1開催		■第3回 12/12開催			■第4回 3/6開催
WG	■第1回WG 6/17開催	■第2回WG 8/4開催	■第3回WG 9/30開催							

進捗状況

- ・テストサイトでの最終確認を経て2月から一般公開。
- ・今後も分かりやすい情報発信を行っていく。
- ・ご意見等あればお知らせください。

研修概要

防災スペシャリスト養成研修とは

災害大国である我が国では、阪神・淡路大震災、東日本大震災、御嶽山噴火、熊本地震、平成30年7月豪雨、令和元年東日本台風、令和6年能登半島地震をはじめ、多くの自然災害に直面してきました。

近年は、気候変動により、風水害が頻発化・激甚化しており、加えて、今後は、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震、首都直下地震、南海トラフ地震、富士山噴火など、甚大な被害が想定される大規模災害の発生が懸念される状況にあります。

これまでの災害の経験を語り継ぎ、また残された課題や教訓を活かして、国、地方公共団体及び指定公共機関等全国の防災力の一層のレベルアップを継続的に行っていく必要があります。

このため、内閣府（防災）では、「危機事態に迅速・的確に対応できる人」、「国・地方のネットワークを形成できる人」を「防災スペシャリスト」に求める人材像と定め、必要とされる知識・技能・態度を、座学や演習を通じて体系的に学ぶことができる「防災スペシャリスト養成研修」を実施しています。